

MRI 検査案内及び注意事項

①MRI 検査とは？

MRI とは、Magnetic(磁気) Resonance(共鳴) Imaging(画像) System(装置)の略で、磁場(磁石)を利用して体内の情報を画像化するものです。検査中大きな音がしますが、放射線被曝や痛み等はありませんので安心して検査をお受け下さい。

②検査時間は？

一度の検査で、数種類の画像を撮影するため、検査部位や検査内容により異なりますが、約 30～40 分程度かかります。画像作成には検査終了後、約 15～20 分ほどかかります。

③検査前の準備

MRI 室に入室していただく前に、検査着に着替えて頂きます。その際、衣類、貴重品などはロッカーにしまっておき、ロッカーのカギは MRI 室内の所定の場所にて保管して頂きます。

※MRI 室に入室して頂く際は患者様ご自身に影響が出てしまう恐れのあるもの、検査に影響を及ぼすものが一切ない状態で入室して頂く為に、看護師によるチェックと検査担当技師によるチェックのダブルチェックにご協力して頂く様お願いいたします。また、頭の検査を受けて頂く際は、お化粧品をとっていただかなければならない場合がございます。

(影響が出る恐れがあるものは裏面にてご案内いたします)

④検査中

検査中は仰向けで寝て頂き、体を動かさないようお願いいたします。MRI 検査は体動に弱い検査のため、安全ベルト等で体を固定させて頂く場合がございます。また、検査部位により、膝を曲げた態勢や肩の下にスポンジなどを敷いて検査させて頂く場合がございます。

また、万が一に備えて、手にはブザーを持って検査を受けて頂きます。何か知らせたいことがある場合、検査中は検査音により御声が検査室まで聞こえない場合があるため、ブザーを鳴らしてお知らせ下さい。

⑤検査終了後

検査終了後はお着替えをしていただき、忘れ物がないようお気を付け下さい。その後、外来でお待ち頂き、診察となります。

MRI 検査を受ける際に影響を及ぼすもの

(1) 禁忌

※禁忌とは、これらの物がある場合、検査を受けて頂くことはできないことを指します。

- ① 体内の電子電機部品：ペースメーカー、人工内耳、植込み型除細動器、神経刺激器など
- ② 脳動脈クリップ：種類によっては検査可能なものもあるため確認が必要
- ③ 決定臓器に位置する鉄片、磁性体：鉄片、弾丸など。可能性が高い場合、確認のため
X線撮影が必要
- ④ 磁場によって活性化するもの：磁力で装着する義眼、磁石部分が脱着不能な義歯など
- ⑤ メイク：特にアイライン、アイシャドウなどは磁性体を含む顔料が含まれているため
- ⑥ 刺青：火傷の可能性あり。眉などのアイメイクを含む。
- ⑦ 補聴器
- ⑧ 血管内デバイス：コイル、ステント、フィルタなど
- ⑨ ニトロダ-ム：ニトログリセリン真皮浸透絆創膏。アルミニウムを含むため。
その他に、エレキバンも。
- ⑩ ボンベ、体外固定具：酸素ボンベ、針金の入ったシーネ、強磁性体入りの砂嚢、
人工肛門パウチなど
- ⑪ リード線、ケーブル：心電図モニタ用のリード線など
- ⑫ 装身具：ヘアピン、アクセサリ、時計、携帯電話、磁気カード(キャッシュカードなど)
下着の金属など
- ⑬ 入れ歯
- ⑭ 妊娠中もしくは妊娠の可能性のある方
※妊娠に関しては検査の安全性が十分に立証されておりません。従いまして、
妊娠中もしくは妊娠の可能性のある場合はお知らせください。

(2) 検査可(場合によっては禁忌)

- ① インプラント：耳、歯などの治療の際に使われるもの。脱着不可能なインプラントについては禁忌
※入れ歯は禁忌
- ② 整形外科のインプラント：膝の十字靭帯再建に用いられる Perfix Interference Screw は
禁忌
- ③ ハローベストなどの外付け固定具：MRI 使用のもののみ可

上記のもので心当たりがあり、診察時、または問診の際伝え忘れたものがございましたら、
検査担当技師までお申し出下さい。